

言語脳科学者・東京大学の酒井邦嘉教授による特別講演会 「脳から考えることばの育て方」開催

日時：10月13日（日）14：30～16：30
場所：ACU-A 大研修室 1614（札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 16F）
主催：一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ
後援：札幌市／札幌市教育委員会

多言語教育を提唱するヒッポファミリークラブ（運営：一般財団法人 言語交流研究所、本部：東京都渋谷区、代表理事：鈴木堅史）は、10月13日（日）に札幌市中央区のACU-Aで、言語脳科学が専門の東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授による特別講演会「脳から考えることばの育て方」を開催します。

酒井教授は、言語交流研究所と東京大学、および米マサチューセッツ工科大学（MIT）が2016年から進めている、多言語習得に関わる脳のメカニズムを解明することを目的とした共同研究の中心となる研究者です。幼少期から中学1年生のはじめまで札幌市と北見市に在住していた経験があり、昨年6月28日に札幌市中央区PTA連合会主催の教育講演会で「脳にとって自然な言語習得法とは」と題した講演を行いました。若年層の英語教育や脳科学への関心の高まりもあり、当日は市内の保護者や教職員など約500人が参加しました。

このほど、酒井教授が10月13日に行われる第66回日本PTA北海道ブロック研究大会（札幌大会）の記念講演で来札するにあわせ、ヒッポファミリークラブにおいても、札幌市と札幌市教育委員会の後援を得て、教授をお招きして特別講演会を開催する運びとなりました。

講師紹介

酒井邦嘉（さかいくによし） 東京大学大学院総合文化研究科 教授



1964年生まれ。幼少期から中学1年生のはじめまで札幌市と北見市に在住。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。1996年マサチューセッツ工科大学客員研究員を経て、2012年より東京大学大学院教授。言語という究極の難問に脳科学の視点から挑んでいる。著書に『言語の脳科学』『科学者という仕事』（ともに中公新書）、『脳の言語地図』（明治書院）、『芸術を創る脳』（東京大学出版会）など。2019年4月には新刊書籍『チョムスキーと言語脳科学』（集英社インターナショナル）が出版された。

今回の特別講演会は、未就学児の方も含めてご家族で参加していただくことが可能です。当日は酒井教授の講演の他、ヒッポファミリークラブの多言語活動紹介やメンバーの体験談も予定しています。参加するお一人おひとりがことばと人間の教育について考えるきっかけになることを願い、より多くの皆様のご来場をお待ちしています。

開催概要

- 日時：10月13日（日）14：30～16：30
- 場所：ACU-A 大研修室 1614（定員 285名）
（札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 16F）
札幌市営地下鉄南北線「さっぽろ」駅・徒歩3分
JR線「札幌」駅南口・徒歩約5分
- 参加：ひとり1,000円（大学生以下は500円、未就学児は無料）
- 申込：0120-557-761（平日9：00～17：30）
* 上記以外の時間帯：090-9751-3021 引地（ひきち）



一般財団法人 言語交流研究所（1981年10月、多言語活動の提唱者である榎原陽氏が設立）が運営するヒッポファミリークラブは、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つを柱として、家族や地域の会員と共に、様々な国や地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいます。日本国内には約700か所の活動場所があり、海外（アメリカ、メキシコ、韓国、台湾）にも活動が広がっています。

【報道関係お問い合わせ先】

ヒッポファミリークラブ 広報室 E-mail:kouhou@lexhippo.gr.jp

TEL:03-5467-7041（代表電話のため受付は9：00～17：30となります。ご不便をおかけしますがあらかじめご了承ください）